

事業名	まちかどインフォメーションセンター事業
-----	---------------------

総事業費	2,698 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町（商店街）の活性化

② 実施 (Do)

事業の意図		①集客する。情報発信を行う。 ②利用する。 ③運営する。
事業の実績 と成果	取組内容	まちなかの拠点施設として定着してきたが、コロナ過ということもあり、まちなかでのイベントが見送られ利用者数は微減となった。一方で、昨年度から大字地域や種子島高校との連携によるイベント開催の商店街への意識を高める取り組みを引き続き実施した。よろひなまつりでは、支庁下階段を利用しひな人形を展示するなど新たな取組も行った。県産業支援センターと連携した事業者の相談会等も実施し、幅広い利用の展開を図った。
	成 果	・ イベント 6件 ・ サークル・教室 68件（くろしお2件、よろひな66件） ・ セミナー・会議 7件（PTA1件、四つ葉の会4件、商店街活性化2件） ・ 相談会12件（よろず相談） ・ 申請支援 7件 ・ 新型コロナウイルス感染症に関する経済対策の支援金等の申請書類の配布等も実施した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	・ 馬毛島への自衛隊基地整備により、多くの建設会社が市街地の店舗に進出してくるなどまちなかが様変わりしており、オフィスが増加している。 ・ 市商工会や商店主が自主的に本施設と連携しての展開を検討する等の商店街の店主の意欲を高める取組も必要である。 ・ まちなか交流施設と連携したイベント等を開催し、商店街への誘客を図る。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	コロナ禍により利用者は減少したが、事業者向けの「よろづ相談会」やマルシェの実施等、商店街や地域を支援する取組を実施した。 種子島高校や校区によるマルシェ等のイベントを開催することで商店街・市街地への誘客につなげ、にぎわい創出を図った。 ウィズコロナを見据え、今後は商店街が主体的な取組を企画・実施し、本施設の利用等が増えることが必要であり、意識の醸成として、港町再生検討推進事業等との連携による取組がますます重要となってくる。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	商店街での活動の拠点として、商店街の情報発信とともにイベント等を開催し、商店街への誘客へとつなげる。 稼げる商店街を支援するため、誘客策を進める。大字や高校と連携した定期的なマルシェの開催、まちなか交流施設を活用したイベント等を企画し、あわせて利活用拡大や今後の自立等を検討していく。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	よろひなまつり
	たねがしまマルシェ

事業名	港町再生検討推進事業
-----	------------

総事業費	3,651 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町（商店街）の活性化

② 実施 (Do)

事業の意図		①情報共有する。 ②協議する・取り組む。
事業の実績 と成果	取組内容	日常的な商店街来訪の実態を把握し現状の商店街へのにぎわいに関する認識や歩行空間に対する問題意識を把握するためイベント時交通実態調査を実施した。検討委員会では、課題解決に向けた意見交換等を行った。 また、本年度から新規に市商工会青年部に対し、商工業次世代育成活動補助金を支給し、地域経済の活性化や商工業を持続していく次世代リーダーの育成を図った。
	成 果	イベント時交通実態調査結果、まちなか交流施設の整備、市商工会との連携強化

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	・ 市民及び庁内への基本構想及び実施計画の周知 ・ 中核施設設置の再検討 ・ 商店街及び市民の当事者意識の醸成 ・ 道路空間デザインの検討 ・ まちなか交流施設の活用
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	検討委員会において課題解決に向けての意見交換等を行い、基本構想及び実施計画に基づく具体的な取組を実施する段階に入った。 市民及び庁内への基本構想及び実施計画の周知が不足しており、商店街及び市民の当事者意識の醸成を更に図る必要がある。実施にあたっては、関係機関との十分な連携を図る必要がある。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	基本構想に基づき、実施計画とともに具体的な取組を進めていくため、これまでの組織を見直し集中して検討を進める。 中核施設については、設置を検討していたビルが売却され実施計画の見直しが急務となっており、今後の展開を検討していく。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	皆とまち再生支援事業
-----	------------

総事業費	3,040 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町（商店街）の活性化

② 実施 (Do)

事業の意図		①②支援する ③活性化する
事業の実績 と成果	取組内容	事業募集→相談対応→審査委員会による審査（審査委員会開催）→交付決定→補助金交付→実績報告確認。 事業実施後の進捗状況把握。 2回募集（① 4/25～5/13 ② 8/25～9/16 ）
	成 果	港町再生支援事業 1件、商品開発事業 2件、販路開拓事業 1件、ビジネスプラン実現化事業 1件

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	事業の周知や使いやすい補助金として検討する。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	ウィズコロナを見据え、応募件数は増加した。起業や新たな事業展開にかかる経費の支援として大いに活用してほしい事業である。 事業内容の周知についても、活用例なども挙げて行うなどの工夫が必要であり、採択要件にしても参入しやすい仕組みにするなどの検討が必要である。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	港町再生の推進とともに地域経済の活性化に向けた支援として、しっかりと周知を行い、有効な活用がされるように支援を行う。
-----------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明

事業名	商店街によるみなと・まちなかゾーン活性化事業
-----	------------------------

総事業費	907 千円
------	--------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	商工業の振興
	基本事業名	港町（商店街）の活性化

② 実施 (Do)

事業の意図			①運営してもらう ②商店街に集まる
事業の実績 と成果	取組内容	アートとアニメを活用して、商店街への誘客を図るため、商店街振興協同組合や市商工会の主体的な取組の支援を行った。	
	成 果	アート・・・アート作品の補修 アニメ・・・展示の実施、等身大パネルの作成	

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	・コロナ過ということもあり、ここ3年間は思うような活動できなかったこともあるが、取組が10年以上経過し、マンネリ化している感がある。市民を巻き込んだ取組となるよう事業の再構築が必要。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	アートとアニメを活用し観光客の増につなげ商店街への誘客を図ることに成功した他市町村の事例もあり、今ある資源を更に効果的に利活用することが急務である。 「アニメの聖地」を最大限に活用し、国内ファンの誘客やインバウンドをターゲットとしたPR活動を積極的に行う必要がある。

④ 改善 (Action)

2023年度方向性	アートとアニメを活用し観光客の増を図り、商店街の活性化を図るために、今ある資源を活用するとともに新たな取り組みを行いインバウンドをターゲットとして様々なPR活動にも力を注いでいく必要がある。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
 	くろしおアートの様子